

成分・性状・物理化学的性質

商品名：スコリテック液剤
 種類名：メコプロップPカリウム塩液剤
 商品名有効成分：(R)-2-(4-クロロ-o-トリルオキシ)プロピオン酸カリウム…56.5%
 性状：褐色澄明水溶性液体
 一般名：メコプロップP(ISO 一般名)

人畜・有用生物に対する影響

人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

| | | |
|--------|-------------------------|----------------|
| 急性経口毒性 | ラット LD ₅₀ ♂♀ | 500~2,000mg/kg |
| コイ | LC ₅₀ (96時間) | 1,000mg/l 以上 |
| オオミジンコ | EC ₅₀ (48時間) | 1,000mg/l 以上 |

土壌中の消長

土壌中では速やかに水と二酸化炭素まで分解していき、環境に対して負荷の少ない薬剤です。

周辺樹木に対する影響

本剤の散布液が、周辺樹木の茎葉部にかかった場合には強い薬害症状がありますので、散布の際に飛散しないよう注意してください。

※散布液を樹木の茎葉部に直接散布 試験場所：日本曹達(株)小田原研究所

| | 薬量0.5ml/m ² ※ | 薬量1.0ml/m ² ※ |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| コノテガシワ(ヒノキ科) | 強 | 強 |
| サツキ(ツツジ科) | 強 | 強 |
| ツツジ(ツツジ科) | 強 | 強 |
| カナメモチ(バラ科) | 強 | 強 |
| サンゴジュ(スイカズラ科) | 強 | 強 |

殺草スペクトラム

◎：効果高い ○：効果あり △：効果不十分 ×：効果なし

| | スコリテック液剤 | スコリテック液剤 | | |
|---------|-----------|-----------------------|------------------------|----------------------|
| | | 0.25ml/m ² | 0.375ml/m ² | 0.5ml/m ² |
| キク科 | オオアレチノギク | ◎ | ◎ | ◎ |
| | アレチノギク | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ヒメムカシヨモギ | ○ | ◎ | ◎ |
| | ハルジオン | ○ | ○~◎ | ◎ |
| | ヒメジョオン | ○~◎ | ○~◎ | ◎ |
| | ノゲシ | ○~◎ | ◎ | ◎ |
| | ノボロギク | ◎ | ◎ | ◎ |
| | オニタビラコ | ○ | ◎ | ◎ |
| | フタクサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ハハコグサ | ○ | ◎ | ◎ |
| | チチコグサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ウラボシチチコグサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | タンポポ | ○ | ○~◎ | ◎ |
| | コセンダングサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| フタナ | ○ | ○~◎ | ◎ | |
| マメ科 | シロツメクサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | カラスノエンドウ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | スズメノエンドウ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ヤバズソウ | △~○ | ○~◎ | ○~◎ |
| オオバコ科 | オオバコ | ○ | ◎ | ◎ |
| ゴマノハグサ科 | オオイヌノフグリ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | タチヌノフグリ | ○ | ◎ | ◎ |
| シン科 | ホトケノザ | ○ | ◎ | ◎ |
| カタバミ科 | カタバミ | △ | △ | △~○ |

| | スコリテック液剤 | スコリテック液剤 | | |
|---------|-----------|-----------------------|------------------------|----------------------|
| | | 0.25ml/m ² | 0.375ml/m ² | 0.5ml/m ² |
| アブラナ科 | ナスナ | ○~◎ | ◎ | ◎ |
| | タネツケバナ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | スカシタゴボウ | ○ | ◎ | ◎ |
| タデ科 | イヌタデ | ○ | ◎ | ◎ |
| | ヒメスイバ | ○ | ◎ | ◎ |
| ナデシコ科 | ツメクサ | ○ | ◎ | ◎ |
| | オランダミミナグサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ノミノフスマ | ◎ | ◎ | ◎ |
| ヒユ科 | アオビユ | ○ | ◎ | ◎ |
| | チドメグサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| セリ科 | ノチドメ | △ | ○ | ◎ |
| | オオチドメ | △ | ○ | ◎ |
| スベリヒユ科 | スベリヒユ | ○ | ◎ | ◎ |
| トウダイグサ科 | コニシキソウ | △ | △~○ | ○~◎ |
| カヤツリグサ科 | カヤツリグサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | コゴメカヤツリ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ヒメクグ | △ | △ | ○ |
| | ハマスゲ | × | △ | △ |
| ツクサ科 | イボクサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| トクサ科 | スギナ | ◎ | ◎ | ◎ |
| サクランソウ科 | コナスビ | ○ | ◎ | ◎ |
| アカバナ科 | アレチマツヨイグサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| ムラサキ科 | キュウリグサ | ◎ | ◎ | ◎ |
| アカザ科 | シロザ | ◎ | ◎ | ◎ |

(日植調委託試験及び社内試験から)

適用雑草と使用方法

2016年9月現在

| 作物名 | 適用場所 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | | 本剤の使用回数 | 使用方法 | メコプロップPを含む農薬の総使用回数 |
|------------------------|---------------------------------|--------------|-----------------|---------------|--------------|---------|----------------------|--------------------|
| | | | | 薬量 | 希釈水量 | | | |
| 日本芝 西洋芝 (ブルーグラス) | 公園、堤とう、庭園、運動場、道路、駐車場、宅地、のり面、鉄道等 | 一年生及び多年生広葉雑草 | 芝生育期(雑草生育期) | 250~500ml/10a | 200l/10a | 3回以内 | 雑草茎葉散布 | 3回以内 |
| | | | 雑草生育期(草丈30cm以下) | 350~700ml/10a | 100~200l/10a | | 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布 | |

△ 使用上の注意事項

- 使用前にはラベルをよくお読みください。●ラベルの記載事項以外のことには使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 生育期の広葉雑草に有効なので雑草の発生後茎葉部に均一に散布して下さい。
- 散布直後の降雨は効果を減らすので天候を見極めてから散布して下さい。
- 低温時(10℃以下)の散布は、効果が劣ることがあるので使用を避けて下さい。
- 本剤の使用により芝に黄変などの薬害を生ずることもあるが、やがて回復し、その後の生育には影響は見られていない。
- 重複散布をすると薬害を生じるおそれがあるので重複散布を避けて下さい。
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、有用植物が付近にある場合はかからないよう注意して散布して下さい。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようして下さい。

発売元

株式会社 理研グリーン

http://www.rikengreen.co.jp

本社 〒110-8520 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 8階 TEL:03(6802)8571

■札幌駐在 TEL:011(595)7401 FAX:011(595)7402 ■大阪支店 TEL:06(6871)1691 FAX:06(6871)1811
 ■仙台支店 TEL:022(222)9599 FAX:022(267)6505 ■福岡営業所 (大阪支店にて代行受付)
 ■東京支店 TEL:03(6802)8943 FAX:03(6802)8953 ■グリーン研究所 TEL:0538(58)1282 FAX:0538(58)1714
 ■静岡支店 TEL:054(283)0691 FAX:054(291)4261 ■榎田工場 TEL:0538(55)5108 FAX:0538(55)5104
 ■名古屋支店 TEL:052(218)3060 FAX:052(218)3061 ■特販部 TEL:03(6802)8636 FAX:03(6802)8577



スコリテック®液剤
 低薬量で優れた効果を発揮する
 茎葉処理タイプの新しいホルモン型芝生用除草剤。

ScoobyTex®
 スコリテック®液剤



1ℓx10本入り

少量で最大の効果を発揮、優しく、 確実にフェアウェイを美しく守るスコリテック。

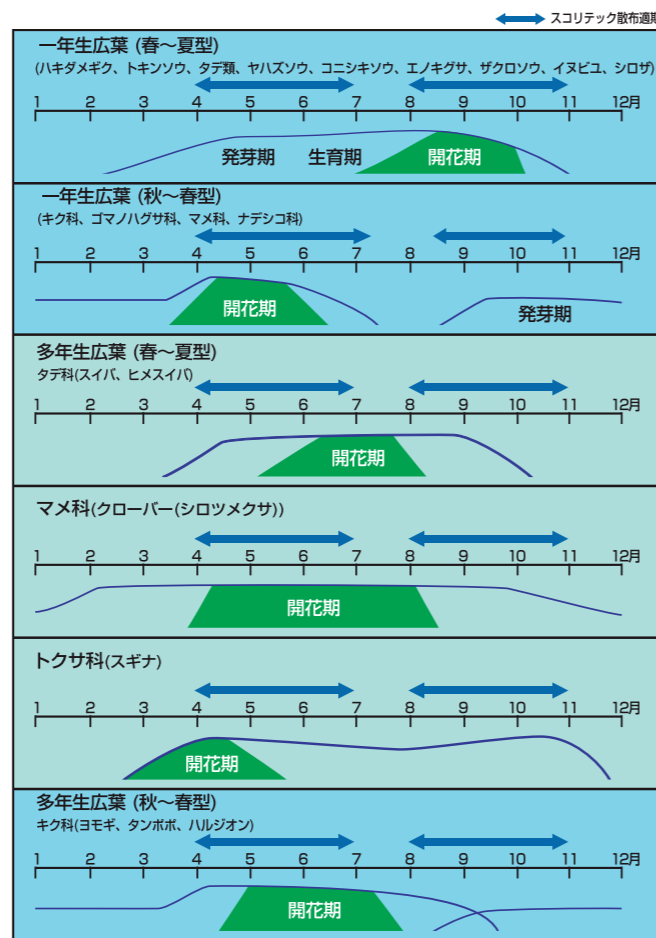
スギナ・広葉雑草が繁茂する緑地管理にスコリテック。

スコリテック液剤は、茎葉処理タイプのホルモン型除草剤です。本剤は散布適期幅が初春から晩秋までと広く、低薬量で使いやすい、自然環境を大切にしたい除草剤です。また、芝生用の広葉雑草防除剤として従来の薬剤に比べて使用散布薬量を大きく削減でき、さらに廃棄物の削減なども可能になります。

特長

- 広葉雑草全般に優れた茎葉処理効果
生育初期から生育期の広葉雑草に優れた殺草活性があります。
- 広い散布適期幅
生育期の雑草が対象の散布適期幅が広い薬剤です。初春から晩秋まで散布できます。
- 雑草全体を枯死させる
植物体内の移行性に優れ、地上部・根部の全体を枯死します。
- スギナに優れた効果
難防除雑草のスギナやチドメグサに対しても優れた効果を示します。
- 芝生に対する選択性
コウライシバ・ノシバ・ブルーグラスに対して高い選択性が確認されています。
- 空容器の処分問題を軽減
慣行薬剤と比較して少ない薬量で効果がありますので、空容器の処分量を大幅に軽減できます。
- 環境への負荷が少ない
人畜毒性は普通物で、土壌中では速やかに水と二酸化炭素まで分解するなど環境に対する影響が少ないといえます。

雑草別の散布適期

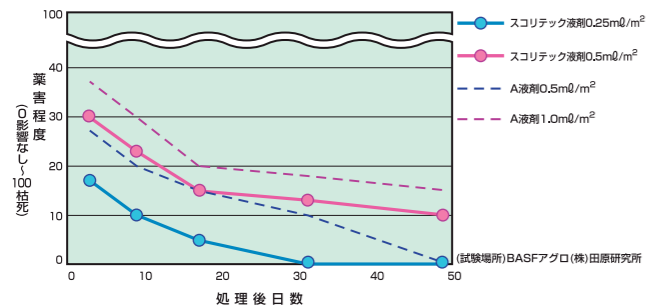


芝に対する選択性(コウライシバに対する影響)

スコリテック液剤は、従来の茎葉処理タイプのホルモン型除草剤と比べて、高温期の散布試験において芝に対する影響が少なく、選択性に優れています。

コウライシバに対する影響

(散布日：9月18日・芝生育期 散布水量：200ml/m² 展着剤加用なし)

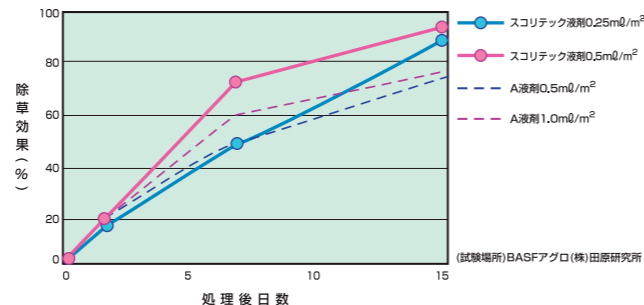


除草効果(スギナに対する効果)

スコリテック液剤のスギナに対する除草効果は、従来の茎葉処理タイプのホルモン型除草剤と比べて発現が速く優れています。

スギナに対する効果

(散布日：10月30日・スギナ生育後期・草丈20cm 散布水量：200ml/m² 展着剤加用なし)



効果的な使い方

スコリテック液剤は、夏期高温時や冬期を除く雑草の生育期にいつでも使用できます。生育期の広葉雑草に有効なので、雑草の発生後茎葉に均一に散布して下さい。また、展着剤を加用すると更に効果の安定が期待できます。散布後1日間ぐらいは雨のなさをうながす天候を見極め、雑草が乾いている時に散布して

下さい。スコリテック液剤は、雑草に対して優れた茎葉処理効果を示しますが土壌処理効果は劣りますので、本剤の散布後に広葉雑草の後次発生が予想される場所では、土壌処理効果のある除草剤と混用すると効果的です。

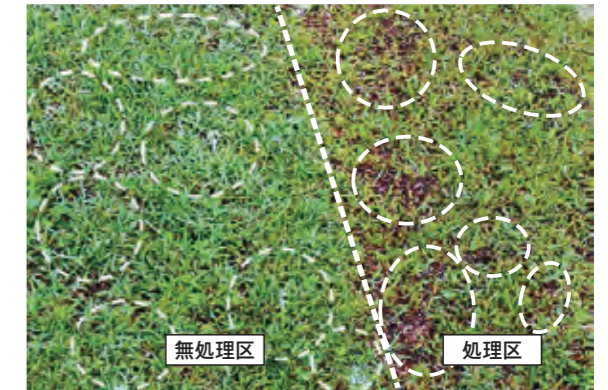
使用事例

日本芝 (のしば) 内のクローバーに対する効果



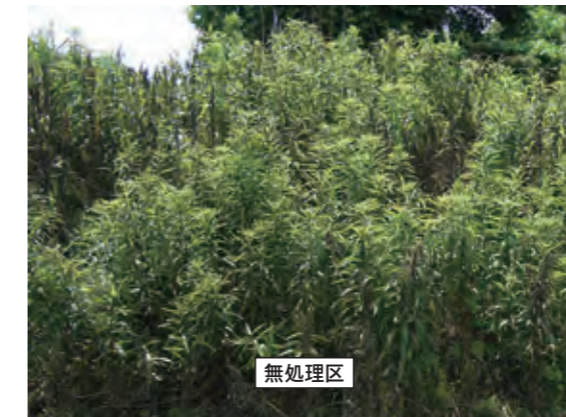
- 実施場所：岩手県内緑地 (のしば)
- 処理日：4月4日 (クローバー生育期)
- 調査日：5月26日 (処理52日後)
- 供試薬剤：スコリテック液剤 0.5ml/m² 水量 200ml/m²

日本芝 (のしば) 内のチチコグサに対する効果

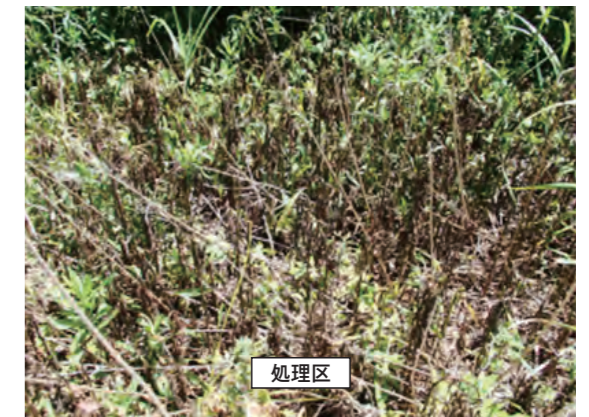


- 実施場所：理研グリーン グリーン研究所圃場 (のしば)
- 処理日：5月26日 (チチコグサ生育期)
- 調査日：6月14日 (処理19日後)
- 供試薬剤：スコリテック液剤 0.4ml/m² 水量 100ml/m²

セイタカアワダチソウ等に対する効果



- 実施場所：新潟県内のり面
- 処理日：5月11日 (雑草生育期)
- 調査日：6月10日 (処理30日後)
- 供試薬剤：スコリテック液剤 0.7ml/m² 水量 100ml/m²



イタドリ等に対する効果



- 実施場所：新潟県内のり面
- 処理日：5月13日 (雑草生育期)
- 調査日：6月9日 (処理27日後)
- 供試薬剤：スコリテック液剤 0.7ml/m² 水量 100ml/m²